

## 地域で支える



市では、医師や介護ヘルパーといった専門職や民生委員など、地域全体が連携して、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる「地域包括ケア社会」の実現を目指している





3月に工事着工した本厚木駅南口地区。  
2020年度の完成を目指す

## 2018年度 施政方針要約

# 真心を込めた「誠実」なまちづくりを 厚市長小林常良

2018年市議会第1回会議の初日、施政方針演説で本年度の市政運営の考えや重点的に取り組む施策を表明しました。議会では総額1472億2813万6千円の「あつぎの元気誠実予算」が成立。市民の皆さま、そして将来厚木市で暮らす全ての皆さまに「まこと」の「みのり」を実感していただけるよう、市政運営に取り組んでいきます。

昨年11月、市自治会連絡協議会が、地域への貢献をたたえる「地方自治功労者」として総務大臣から表彰を受けるとともに、日経DUALと日本経済新聞社が実施した子育てに関する調査で「子育てしながら働きやすい都市」として本市が県内1位の評価をいただきました。これまで進めてきた市民協働によるまちづくりや「子育て・教育環境日本一」を目指した取り組みが評価され、市民の皆さ

まと共に全国に誇れるまちを築き上げてきたことが認められたものと改めて感謝しています。

また、1月には企業誘致の促進や交通渋滞の解消、災害時の代替道路としての役割などが期待される新東名高速道路が県内で初めて開通し、厚木南インターチェンジが誕生しました。近い将来、厚木秦野道路の開通などに伴い、七つのインターチェンジが設置され、厚木市は、経

済や観光などの面でさらに大きく発展していきます。



市議会第1回会議の様子





高速道路の開通の喜びを1万人で分かち合った「新東名あつぎウォーク」

今年の市政運営のテーマは「誠実」です。市民の皆さまに対し、真心を込めて接するとともに、市政に対して真摯に向き合い、将来を見据えたまちづくりに取り組んでいきます。

### あつぎの元気誠実予算を編成

本年度の当初予算は、将来を見据えた長期的な視点や市民の皆さまのニーズを踏まえ、「人口の将来展望を実現する地方創生の推進」「誰もがいきいきと生活できる地域包括ケア社会の実現」「将来にわたって活力あるまちであり続けるための都市基盤整備の推進」「防災・減災対策の強化による安心・安全の推進」「2020年東京オリンピック・パラリ

ンピックを契機としたレガシーの創出」「中心市街地の魅力や利便性の向上」の六つを重点プロジェクトとする「あつぎの元気誠実予算」として編成しました。一般会計は過去最大となる862億円、特別会計を合わせた総額では1472億円を超える予算規模となっています。

主な取り組みとしては、本厚木駅南口の再開発事業や、保健センター跡地への観光バス発着所オープン、森の里東地区をはじめとする土地区画整理事業など、将来を見据えたまちづくりが本格化していきます。また、新たに地域包括ケア連携センターを設置し、地域包括ケア社会の実現に向けた取り組みを進めるとともに、10年の節目を迎えるセーフコミュニティの活動を世界に発信するため、アジア地域セーフコミュニティ会議を開催するなど、これまでまいてきたまちづくりの種がさらに大きく実っていきます。

さらに本年度は、これまで進めてきた「あつぎ元気プラン」の総仕上げとなる第4期実施計画がスタートする年でもあります。この計画を「総



子育て環境のさらなる充実も進めていく

仕上げ実行プラン」と位置づけ、予算編成の柱に掲げた六つの重点プロジェクトを積極的に推進するとともに、さらなる市民満足度の向上を目指し、取り組んでいきます。

### 全ての皆さまに「まこと」の「みのり」を

将来にわたり持続可能な、発展し続ける都市を次世代に引き継ぐため、これからも種をまき、大切に大きく育て、「まこと」の「みのり」を実感していただくことができるよう、「誠実」な市政運営に取り組んでいきます。

「あつぎ元気プラン」に掲げる将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現のため、皆さまのより一層のお力添えを心からお願い申し上げます。



2月の予算会見で記者団に過去最大規模の予算を説明

— CONTENTS —  
あつぎの元気誠実予算2018

あつぎの元気誠実予算	P5
一般会計をチェック	P6
<b>六つの重点プロジェクト別主要事業</b>	
①人口の将来展望を実現する地方創生の推進 《目玉事業》親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金	P8
②誰もがいきいきと生活できる地域包括ケア社会の実現 《目玉事業》看護職・歯科衛生士・介護職等の確保・定住促進事業	P10
③防災・減災対策の強化による安心・安全の推進 《目玉事業》地域防災計画改定関連事業	P11
④将来にわたって活力あるまちであり続けるための都市基盤整備の推進 《目玉事業》土地区画整理推進事業	P12
⑤中心市街地の魅力や利便性の向上 《目玉事業》本厚木駅南口地区市街地再開発事業	P14
⑥2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出 《目玉事業》荻野運動公園スポーツ施設リニューアル事業	P16
その他の主要な事業 あつぎ元気プランの着実な推進	P17
元気あふれるまちを目指して「あつぎ元気プラン」	P18

## あつぎ市民ふれあい都市宣言

厚木市は、先人のたゆまぬ努力により、自然と調和する都市として発展してきました。そして今、少子高齢化の進展や価値観の多様化により、人と人との関係が変化し、市民相互の絆(きずな)がより大切になっています。

私たち一人一人が地域に関心を持ち、日頃から助け合い、市民協働により、身近な課題に取り組むことで、笑顔で暮らせる安心・安全なまちをつくることができます。

家庭や地域で思いやりの心を育み、ふるさと厚木を世代を超えて愛し、誇れるまちとするため、ここに「市民ふれあい都市」を宣言します。

### ふれあいの家庭づくり

家族との絆(きずな)を深め、人を思いやる豊かな心を育み、ぬくもりのある「心ふれあう家庭」をつくりましょう。

### ふれあいの地域づくり

地域に暮らし、働き、学ぶ中で、地域活動の輪を広げ、みんなで支え合う「心ふれあう地域」をつくりましょう。

### ふれあいのまちづくり

人とのつながりの輪を広げ、希望に満ちた、未来に輝く「心ふれあうまち厚木」をつくりましょう。



2018年度

# あつぎの元気誠実 予算

本年度の予算は、誠実な心と熱意を持って、次世代への架け橋を創造する「あつぎの元気誠実予算」として編成しました。総額は、1472億2813万6千円で、前年度と比較して24億8742万2千円の増額(1.7%増)となります。  
固財政課 ☎225-2170

## 予算

総額 **1472億2813万6千円**  
(前年度比1.7%増)

## 一般会計

過去最大

総額 **862億円**  
(前年度比6.7%増)

6・7ページへ

## 特別会計

総額 **484億1887万1千円**  
(前年度比6.8%減)

## 公営企業会計

総額 **126億926万5千円**  
(前年度比5.2%増)

## 五つの特別会計

特別会計は、特定の歳入を特定の歳出に充て、目的に応じて使う会計です。

### 国民健康保険事業

- 239億800万円(前年度比17.6%減)  
国民健康保険料が主な財源で、被保険者が病気やけがなどした場合の給付など

### 介護保険事業

- 136億5600万円(前年度比2.2%増)  
介護保険料が主な財源で、被保険者が介護サービスを利用した場合の給付など

### 公共下水道事業

- 69億4900万円(前年度比0.8%増)  
下水道使用料が主な財源で、下水道の建設や維持管理など

### 後期高齢者医療事業

- 27億4600万円(前年度比9.5%増)  
後期高齢者への医療給付に必要な保険料の徴収など

### 公共用地取得事業

- 11億5987万1千円(前年度比549.3%増)  
公共用地の先行取得など

公営企業会計は、民間企業と同じように事業収入によって運営している事業の会計で、市では病院事業が該当します。

## 病院事業会計

市立病院の運営

- 収益的収支(前年度比)  
収益 104億8423万6千円(6.6%増)  
費用 109億8706万6千円(0.9%減)

- 資本的収支(前年度比)  
収入 10億8072万3千円(193.7%増)  
支出 16億2219万9千円(79.0%増)

※資本的収支の不足額5億4147万6千円は、消費税と地方消費税資本的収支調整額で補てんし、なお不足する額は他会計借入金で措置します。

# 一般会計をチェック

一般会計は、福祉や防災、道路、教育など市の基本的な仕事の収入と支出を管理する会計です。



市民1人当たりには換算した金額

※人口22万5812人(2018年1月1日現在)を基準に算出

## 歳入

### その他

100億744万円 4万4317円

使用料・手数料、諸収入、基金からの繰入金など

### 譲与税・交付金

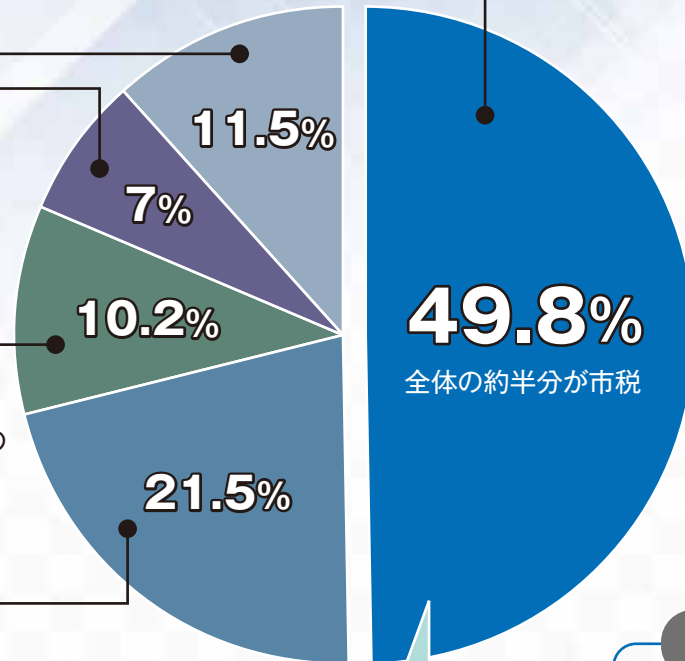
59億3600万円  
地方譲与税や地方消費税交付金など  
2万6287円

### 市債

87億6390万円  
公共事業の財源とするための長期借入金  
3万8811円

### 国・県支出金

185億5684万円  
使い道が特定されている国や県からの補助金など  
8万2178円



### 市税

429億3582万円  
市民税や固定資産税、都市計画税など  
(内訳は下表参照)  
19万140円

49.8%  
全体の約半分が市税

## 貯金と借金

### 貯金(=基金)

年度間の財政調整をする財政調整基金のほか、教育、文化振興・災害対策など特定の目的で積み立てる資金です。

### 〈基金の合計額〉

127億3654万円  
(本年度末見込み額)  
5万6403円

### 借金(=市債)

学校や道路など、長期にわたって使用する公共施設の整備に必要な市債(長期借入)を発行します。

### 〈市債の残高〉

534億6214万円  
(本年度末見込み額)  
23万6755円

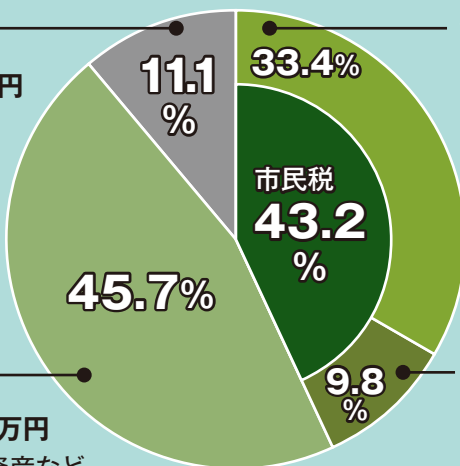
### 市税収入の内訳

#### その他

47億9835万円  
都市計画税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税など  
2万1249円

#### 固定資産税

195億9961万円  
土地、家屋、償却資産など  
8万6796円



#### 個人市民税

143億1412万円  
6万3390円

#### 法人市民税

42億2374万円  
1万8705円

# 歳出

## どんなことに使われているの？

総額 **862億円** 人 38万1733円

### 目的別 福祉や教育など、行政の目的に着目した歳出の分類

#### その他

158億9374万円  
総務費、商工費、消消費など  
人 7万384円

#### 公債費

58億5424万円  
借り入れた市債の返済  
人 2万5925円

#### 衛生費

80億1525万円  
健康増進、疾病予防、環境対策、  
ごみ処理など  
人 3万5495円

#### 教育費

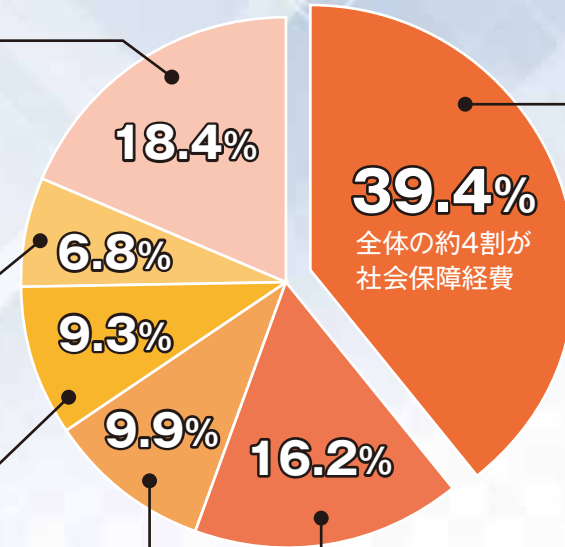
85億695万円  
学校教育、社会教育、スポーツ振興など  
人 3万7673円

#### 民生費

339億5710万円  
高齢者や子育てなどの  
福祉サービス  
人 15万378円

#### 土木費

139億7272万円  
道路や公園・河川の整備など  
人 6万1878円



### 性質別 人件費や扶助費など、経費の経済的性質に着目した歳出の分類

#### その他

177億3369万円  
維持補修や団体への運営費補助金、  
基金への積立金など  
人 7万8533円

#### 公債費

58億5424万円  
公共事業などの財源として  
借り入れた市債の返済  
人 2万5925円

#### 普通建設事業費

128億1809万円  
道路や公園などの公共施設の建設・改良工事など  
人 5万6764円

#### 扶助費

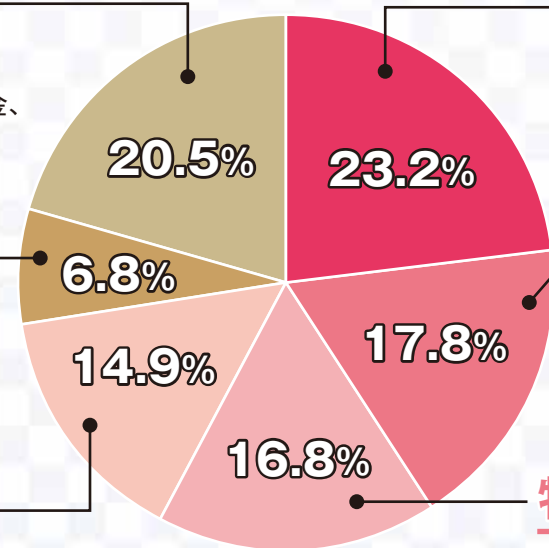
200億2168万円  
児童手当や生活保護費など  
人 8万8665円

#### 人件費

153億2330万円  
職員の給料や議員の報酬など  
人 6万7859円

#### 物件費

144億4900万円  
公共施設の施設運営費や消耗品など  
人 6万3987円





# あつぎの 元気誠実予算 2018

# 六つの 重点プロジェクト別 主要事業

## 1 人口の将来展望を実現する **地方創生** の推進

まちの魅力を高め、将来にわたって活力あるまちづくりを進めます。

### 目玉事業

新規

若年世代から高齢者までが互いに支え合うまちづくり

## 親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金

2000万円 住宅課

市外に住む子世帯が、市内に住む親世帯と新たに近居または同居を始める場合に、住宅取得の費用や同居のための改修費用を補助します。

#### 【対象】

- 1 親世帯が1年以上市内に居住し、近居または同居のために市外から転入する子世帯
- 2 補助対象住宅に3年以上近居または同居する予定の方など

#### 【補助金の種類】

- 1 **住宅取得補助金** 近居の場合40万円、同居の場合60万円
- 2 **住宅改修補助金** 改修経費の1/10 (上限20万円)



#### 【補助金の加算】

次の場合は補助金が10万円加算されます。

- 1 子世帯に中学生以下の子がいる
- 2 子世帯の夫婦いずれかが40歳未満
- 3 市が定める定住促進地区に住宅を取得
- 4 市内に通勤する方が住宅を取得

子育て世帯を応援

## 子育て世帯支援事業

新規

200万円 子育て支援センター

子育て中の保護者の家事や育児を支援し、リフレッシュの場を提供することで、ストレスや孤独感を解消します。地域全体で子育て世帯を支援する環境を推進します。

#### ほっとタイムクーポン券配布事業

市内在住の第一子出生世帯に、ほっとタイムサポーターを無料で利用できるクーポン券を1回配布します。

#### 【ほっとタイムサポーターとは】

沐浴・授乳の補助、おむつ交換、食事の準備・片付け、洗濯など、育児や家事に関する支援のほか、育児の相談や助言を行う、市から派遣された有償ボランティアです。

#### 子育てリフレッシュ事業

市内商業施設などで子育てに関する講座を年4回程度開講。開講中は託児室「わたぐも」で託児を実施し、子育て中の保護者同士がコミュニケーションをとり、リフレッシュできる機会を提供します。

【対象】市内在住の1歳以上の未就学児と保護者



県内初!保育現場への復職を支援

## 保育士復職等 奨励助成金

新規

久保子どもの未来応援基金活用事業

100万円 保育課

保育現場への復職を考える方に対し、再就職にかかった費用の一部を助成します。



新たな施設整備で保育所待機児童ゼロへ

## 民間保育所 建設事業費補助金

拡充

5億4019万6千円 保育課

新たに認可保育所を3施設、小規模保育施設を5施設整備し、保育の受け入れ定員を365人拡大します。

放課後児童クラブの受け入れ定員を拡大

## 放課後児童クラブ 運営事業

拡充

3億1968万円 こども育成課

厚木第二放課後児童クラブをはじめ、待機児童の数が多いクラブの定員を拡大し、早期の学童保育待機児童ゼロを目指します。



県内初の病児保育室を併設した保育施設などの運営を補助

## 小規模保育施設 運営費補助金

拡充

6005万6千円 保育課

小規模保育事業や、3月に開園した保育施設併設型の病児保育室の運営にかかる費用を補助します。

県内19市で初の全校展開

## コミュニティ・スクール 推進事業

拡充

621万8千円 教育総務課

学校・保護者・地域が協働で学校を運営することで、子どもの豊かな学びや健やかな成長を支える「コミュニティ・スクール」を全市立小・中学校に展開し、地域とともにある学校づくりを進めます。

2017年度 20校導入済み

+

2018年度 16校導入

▼

全市立小・中学校 36校で展開

生徒一人一人にきめ細かな指導を

## 中学校少人数学級 実施事業

拡充

522万円 教職員課

生徒たちの学力向上をはじめ、問題行動や不登校の減少を図るため、各学校の実態に応じて少人数学級を編成し、非常勤講師を派遣。生徒一人一人にきめ細かな指導をします。



## 2 誰もがいきいきと生活できる 地域包括ケア社会の実現

誰もが健康で生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

### 目玉事業

優れた人材を確保し、質の高いサービスを

## 看護職・歯科衛生士・介護職等の 確保・定住促進事業

新規

**3700万円** 健康長寿推進課・介護福祉課

市内の医療機関や介護・障害福祉サービス事業所などに勤務する看護職員・歯科衛生士・介護職員・管理栄養士を対象に、助成金を補助します。

#### 【助成金の種類】

##### 1 転入奨励助成金

一律15万円+転入経費5万円(最大20万円)  
市内に勤務または就職が決定した方で、市内に転入した場合、転入経費の一部を助成。

##### 2 復職等奨励助成金

一律20万円  
復職などをする方へ、就業経費の一部を助成。

##### 3 奨学金返済助成金

年間上限20万円(最長3年、最大60万円)  
奨学金を利用して資格を取得し、現在返済をしている方へ、奨学金返済費用の一部を助成。



## 自宅で安心して暮らすために 包括的支援事業

拡充

介護保険事業特別会計

**3億3537万円** 福祉総務課・介護福祉課

地域包括ケア連携センターを設置し、地域包括支援センターや障がい者相談支援センターなどを支援することで、在宅医療・介護・生活支援の連携を強化します。さらに、各地域包括支援センターの担当区域を地区市民センターと統一させ、地域との連携を強化します。

こうくう  
口腔ケアの充実で健康寿命を延伸

## 在宅歯科・口腔ケア 推進事業費交付金

新規

**256万2千円** 健康長寿推進課

健康寿命を延ばすため、在宅歯科医療や口腔ケアに関する知識の普及・啓発活動や電話相談を実施する厚木歯科医師会に交付金を交付します。

楽しみながら健康寿命を延ばす

## あゆこちゃん GENKIポイント事業

拡充

**431万4千円** 健康長寿推進課

楽しく健康づくりに取り組む環境を整備します。これまでの年齢制限を撤廃し、対象を全年齢に拡大。新たに地域ポイントを創設し、コースも簡素化して、誰もが参加しやすい事業を展開します。

障がい児・者に寄り添い自立を促進

## 障害者相談支援事業

拡充

**8899万3千円** 障がい福祉課

障がい者基幹相談支援センターや市内に5カ所ある障がい者相談支援センターで、障がいがある方への専門的な相談支援業務を実施。さらに、障がい者基幹相談支援センターで就労に特化した相談や就職後の企業訪問を実施し、障がい者の就労・定着を支援します。



# 3 防災・減災対策の強化による安心・安全の推進

地域と連携して、地震や風水害などの災害対策に取り組みます。

## 目玉事業

災害に強いまちに

### 地域防災計画改定 関連事業

新規

2500万円 危機管理課



地震や風水害による被害を軽減し、災害に強いまちづくりに向け、地域防災計画を改訂します。市独自で地震被害想定調査を実施し、計画に反映していきます。

#### 【これまでの見直し経過】

- 2011年度 東日本大震災を教訓に全面的な見直しを実施
- 2012年度 保育所帰宅困難者対策、防災用ベンチ整備を追加
- 2015年度 避難支援計画・地区防災計画の位置付け、指定避難所・指定緊急避難場所の指定など

#### 【本年度の主な取り組み】

- ・地震被害想定調査の実施
- ・改正された法令や調査の結果を計画に反映

土砂災害から市民の命と財産を守る

### 急傾斜地安全対策 工事補助金

新規

900万円 危機管理課

急傾斜地での崩壊防止対策工事費などを一部助成します。

#### 【対象】

住居に隣接する傾斜30度以上・高さ2m以上の急傾斜地（県が実施する急傾斜地崩壊対策工事の対象となるものは除く）

#### 【助成額】

対象工事費の1/3（上限300万円）



災害時の帰宅困難な園児・児童の安全を確保

### 乳幼児等災害時 対応備蓄強化事業

新規

353万9千円 危機管理課

大規模災害時における、幼稚園や市立放課後児童クラブの災害時用食料備蓄品を充実させます。

相川・南毛利分署の機能を充実

### 消防庁舎整備関連事業

各種災害に迅速・的確に対応するため、消防・防災拠点である南毛利分署と相川分署を移転し、新たに整備します。

2021年度完成予定

#### 南毛利分署新築事業費

新規

2477万2千円 消防総務課

2020年度完成予定

#### 相川分署新築事業費

継続

4097万6千円 消防総務課

中心市街地の浸水被害を軽減

### 公共下水道厚木排水区 等浸水対策事業

拡充

公共下水道事業特別会計  
14億円 下水道施設課

想定を超える局地的集中豪雨の浸水被害を軽減するため、あさひ公園地下に、雨水貯留施設を整備。2019年度の完成を目指します。

## 4

将来にわたって活力あるまちであり続けるための  
都市基盤整備の推進

新たな産業拠点の創出や道路整備に取り組み、地域経済を活性化します。

## 目玉事業

新たに3地区の区画整理を同時に推進

## 土地区画整理推進事業

新規

1億2193万円 まちづくり推進課

新たな産業拠点の創出に向け、酒井・山際・山際北部地区の土地区画整理の事業化を目指し、権利者組織に必要な支援をします。

## 1 酒井土地区画整理推進事業

施行面積 約27<sup>ヘクタール</sup> 1927万6千円

## 2 山際土地区画整理推進事業

施行面積 約22<sup>ヘクタール</sup> 1857万8千円

## 3 山際北部土地区画整理推進事業

施行面積 約17<sup>ヘクタール</sup> 8407万6千円

## 【本年度の主な取り組み】

・組合設立認可申請書の作成など、事業認可に必要な各種業務に着手



酒井地区完成イメージ

2020年度にB工区が操業開始予定

## 森の里東土地区画整理関連事業

6億838万円 まちづくり推進課

新たな産業拠点の創出に向け、下古沢・上古沢・愛名・森の里青山地区で約68<sup>ヘクタール</sup>の土地区画整理事業が進められています。2017年にA工区が完成し、今年1月から立地企業の操業が開始されています。引き続き、自然環境に配慮しながら20年度にB工区、23年度にC工区の工事完成・立地企業の操業開始を目指します。

## 【本年度の主な取り組み】

・市補助金の交付、公共施設管理者負担金の支出  
・関連排水路整備の実施  
・関連道路整備の実施



完成したA工区

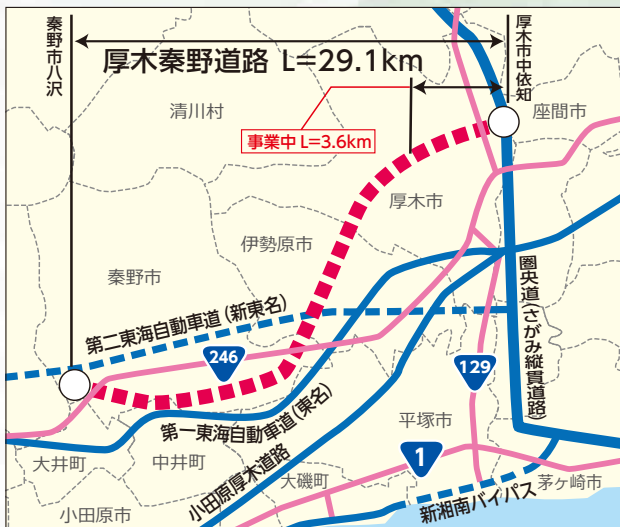


幹線道路の早期整備を目指して

## 厚木秦野道路用地 取得事業(用地国債) 新規

公共用地取得事業特別会計  
**9億9500万円** 道路管理課

厚木秦野道路(国道246号バイパス)の早期整備促進に向け、国の用地国債先行取得制度を活用し、道路整備に必要な用地を国に代わって取得します(市が取得した用地は、4年以内に国が買い戻します)。



地域経済活性化へのさらなる一手

## スマート インターチェンジ 整備関連事業 新規 拡充

**4億7189万2千円**  
道路整備課、道路維持課

圏央道の有効活用をはじめ、地域経済の活性化や交通渋滞の解消を目指し、厚木パーキングエリア内へのスマートインターチェンジの整備と合わせ、周辺道路を再整備します。



2022年度開通予定

## 厚木環状3号線 街路整備事業 新規 拡充

**15億1010万4千円** 道路整備課

安全で快適な交通ネットワークを確保し、森の里東土地地区画整理事業施行地区への主要アクセス道路として都市計画道路を整備。企業誘致につなげます。



環状3号線宮地交差点イメージ



環状3号線トンネルイメージ

【本年度の主な取り組み】

県道63号(相模原大磯)宮地交差点から市道<sup>はたや</sup>旗谷上古沢線までの1700<sup>はたや</sup>区間の供用開始に向けた用地買収、擁壁詳細設計委託、街路整備工事の実施

駅利用者の増加に対応

## 愛甲石田駅 周辺整備事業 新規

**1100万円** 市街地整備課

森の里東土地地区画整理事業や南部産業拠点の整備による駅利用者の増加に対応するため、駅北口広場の拡張や、周辺道路の環境改善を盛り込んだ、駅周辺整備の基本構想を検討していきます。

# 5 中心市街地の魅力や利便性の向上

中心市街地の施設や設備を整備し、快適で住みよいまちをつくります。

## 目玉事業

2020年度完成予定。本厚木駅の新たな顔に

# 本厚木駅南口地区市街地再開発事業 拡充

16億1766万9千円 市街地整備課



本厚木駅南口完成イメージ

魅力ある駅前環境の創出に向け、駅南口市街地再開発事業を進めています。人や車のスムーズな動線を強化し、ストレスのない歩行空間を整備。商業・業務・居住などの複合的な都市機能整備を進めます。

【面積】約0.8<sup>ha</sup>

【整備内容】

1 再開発ビル 構造:地下2階、地上22階建て  
用途:店舗、事務所、住宅(約165戸)、駐車場(約100台)、市営駐輪場(約600台)など

2 駅前広場・3460平方<sup>m</sup>から4270平方<sup>m</sup>に拡充  
・バスやタクシー、身体障がい者の乗降場、一般車乗降場を設置



駅前広場イメージ

【本年度の主な取り組み】再開発ビル、駅前広場などの工事



市民の新たな憩いの場へ

## 中町第2-2地区周辺 整備関連事業

継続

**7597万8千円**  
市街地整備課・青少年課・中央図書館

市民の憩いの場として、自宅でも職場でも学校でもない第3の居場所「サードプレイス」の創出を目指し、(仮称)こども未来館や新たな中央図書館を中心とした複合施設の整備に向け、基本計画を作成します。また、交通機能を向上するため、バスセンターを含めた周辺道路計画を検討します。



中町第2-2地区周辺

今夏稼動開始予定  
駅前からホットな話題を発信

## デジタルサイネージ 設置事業

新規

**2484万円** 広報課

本厚木駅の利用者に、イベントや観光・行政情報などを発信するため、北口広場にデジタルサイネージ(電子看板)を8台設置します。



デジタルサイネージ設置イメージ

災害に強い新庁舎を建設

## 庁舎再編等推進事業

新規

**3094万3千円** 企画政策課

現在の庁舎の老朽化や分散化、狭あい化の解消、災害対応力の強化を図るため、新庁舎建設に向けた基本的な計画を策定します。

現在の市役所本庁舎



2019年度完成予定

## (仮称)旭町2丁目 自転車等駐車場整備事業

新規

**5111万9千円** 交通安全課

駅周辺に自転車などの駐車場をバランスよく配置し利便性を向上させるため、本厚木駅南部(旧厚木労働基準監督署跡地)に新たな駐輪場を整備します。



自転車等駐車場整備イメージ

「厚木の顔」をさらに魅力的に

## 本厚木駅北口周辺 整備事業

新規

**700万円** 市街地整備課

本厚木駅北口周辺地区の将来的な再整備に向け、基本調査を実施します。

# 6 2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機としたレガシーの創出

運動や観光客誘致環境を向上し、スポーツや文化の振興を図ります。

## 目玉事業

2018年度工事完了

### 荻野運動公園スポーツ施設リニューアル事業

拡充

11億5073万4千円 公園緑地課

ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ誘致に向け、より快適に公園が利用できるようリニューアル工事を実施します。

【リニューアル内容】

1 体育館メインアリーナ…夏・冬でも快適に利用できるよう、冷暖房型空調設備を導入し、老朽化したサブアリーナと管理棟の空調機を改修。トイレの便器を洋式に改修する。

2 スタジアム(建屋)・フィールド(芝)・トラック(走路)…老朽化のため全面改修。トイレを洋式化し、全面バリアフリーにする。

3 備品…日本陸上競技連盟の基準に基づき、写真判定機やスタート発信装置などを更新。



インターネット環境を快適に

### 公衆無線LAN整備事業

新規

798万7千円 情報政策課

公共施設や店舗などでインターネットに接続できる公衆無線LAN(Wi-Fi)「(仮称)あつぎFree Wi-Fi」を整備します。

【整備予定箇所】

本厚木・愛甲石田駅前、えきちょこ、荻野運動公園、市役所本庁舎など



外国人に居心地の良いまちに

### 受入環境整備事業補助金

拡充

150万円 観光振興課

観光関連事業者を対象にしたスキルアップ研修の実施や外国語表示の案内板の設置など、外国人観光客の受け入れ環境の整備にかかる費用の一部を補助します。

次代を担う子どもたちの夢と希望を育む

### オリンピック・パラリンピック支援推進事業

拡充

5988万8千円 企画政策課

2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国であるニュージーランドの事前キャンプ誘致をはじめとした交流事業を進め、子どもたちの夢と希望を育みます。さらに、障がい者スポーツを通じて、障がいへの理解促進に取り組みます。

英語教育のさらなる充実

### 英語教育推進事業

拡充

4306万円 教育指導課

市立小・中学校に英語を母語とする外国語指導助手(ALT)を配置し、授業や教員研修を通して、英語教育を充実させます。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックで訪れた外国人と交流する子どもたちを育成します。





# あつぎ元気プランの着実な推進

安心・安全をアジア地域へ発信

## アジア地域 セーフコミュニティ会議 厚木大会開催事業

新規

2350万円 セーフコミュニティくらし安全課

セーフコミュニティの取り組み開始から10年の節目を迎える市で、11月12日～15日にわたって、アジア地域の安心・安全に関する専門家や研究者などの第一人者が集まる国際会議を開催します。



公共交通の利便性を向上

## 広域交通・地域交通 整備事業

新規

500万円 都市計画課

連節バスによる通勤・通学をはじめとしたバス交通の利便性向上や、高齢者などの移動手段確保に向けた持続可能なコミュニティ交通の検証を進めます。

## 10年で2億4千万円のコスト削減 街路灯LED化事業

新規

1820万円 道路維持課

2572灯の市域街路灯をLED化します。維持管理費を削減するとともに、低炭素化による環境改善(地球温暖化対策)を促進します。

2019年1月オープン

## (仮称)あつぎ郷土 資料館建設事業

拡充

7億5598万6千円 文化財保護課

体験学習などの普及活動を通じて市民の皆さんの郷土への愛着や誇りを育むための拠点施設を整備。郷土の歴史や文化を物語る資料の展示、収集・保存、調査研究を進めます。

2019年4月入居開始

## (仮称)戸室ハイツ 第2期建設事業

拡充

10億7672万6千円 住宅課

低所得者への住宅供給を充実させるため、(仮称)戸室ハイツ第2期70戸と集会施設を整備します。

厚木のアユを絶やさない

## 水産業強化 支援事業

新規

385万2千円 農業政策課

アユを活用した水産業の活性化を図るため、アユの中間育成施設を整備します。放流するアユ種苗の生産量を増やし、県内産が占める割合を増加させることで、安定的な確保に取り組みます。

電子ペーパーで働き方を革新

## 電子ペーパー端末 導入事業

新規

500万円 行政経営課

紙の資料の代替として活用することができる電子ペーパー端末を導入し、行政事務の効率化・迅速化や、紙と印刷コストの削減に取り組みます。



# 元気あふれるまちを目指して あつぎ元気プラン

市のまちづくり  
2009年度から  
ここでは、これま

## 「あつぎ元気プラン」ってなあに？

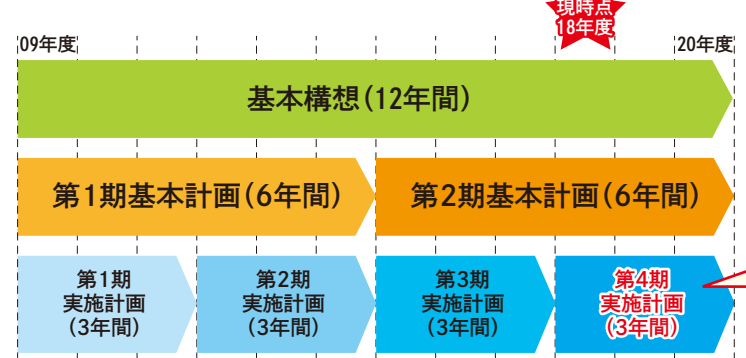
少子高齢化の進展や自然災害の発生、環境問題など、将来を見据えたまちづくりを計画的に進めるための市の最高指針です。市の将来都市像「元気あふれる創造性豊かな協働・交流都市 あつぎ」の実現に向け、20年度までの12年間にわたり計画を進めています。

☎企画政策課 ☎225-2455

詳しくは・・・市政情報コーナーにある「あつぎ元気プラン」第2期基本計画書や市ホームページでご覧いただけます。

厚木市 総合計画

- 基本構想** 市の将来都市像とこれを実現するための五つのまちづくりの目標を定めたもの
- 基本計画** 基本構想で定めたまちづくりの目標に基づき、施策の方針などを定めたもの
- 実施計画** 基本計画で定めた施策の方針に基づき、具体的な事業を年度別に定めたもの



## これまでの軌跡 9年間の主な軌跡

09年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
「あつぎ元気プラン」スタート	ごみ減量化・資源化新システムスタート	東日本大震災発生に伴い 県央8市町村で災害協定を締結	中町2丁目自転車駐車場オープン 下古沢に新斎場オープン	「圏央道厚木第二発電所」完成 「圏央道あつぎウォーク」開催	客引き行為等防止条例制定 上古沢に県内初のメガソーラー 「圏央厚木第一発電所」完成	「ふれあい都市宣言」 <b>市制60周年</b>	地域包括支援センターを 8力所から10力所に
	SC(セーフコミュニティ)認証取得 B-1グランプリinあつぎ開催	市マスケットキャラクター「あゆこちゃん」誕生	子ども医療費助成を中学生まで拡大		「圏央厚木パークエリア」商業施設オープン 「アミューあつぎオープン」 経営革新度調査で 全国第1位を獲得	あゆこちゃん GENKIポイント事業スタート 26の記念事業を実施	





の方向性を定めた総合計画「あつぎ元気プラン」。  
 スタートしたこの計画は、今年4月から最終期間に突入します。  
 での軌跡と、総仕上げに向けた今後3年間の取り組みを紹介します。

## 第4期実施計画

「あつぎ元気プラン」の総仕上げとなる計画です。将来都市像の実現に向け、将来を見据えた長期的な視点による五つのテーマと、市民ニーズを踏まえた一つのテーマを「重点プロジェクト」として、各種事業に取り組みます。

### 市民ニーズによる重点プロジェクト

- ① **中心市街地**  
 の魅力や利便性の向上(P14)



現在開発が進む  
 本厚木駅南口地区

### 将来を見据えた重点プロジェクト

- ① 人口の将来展望を実現する **地方創生**の推進(P8)
- ② 誰もがいきいきと生活できる **地域包括ケア社会**の実現(P10)
- ③ **防災・減災対策**の強化による安心・安全の推進(P11)
- ④ 将来にわたって活力あるまちであり続けるための **都市基盤整備**の推進(P12)
- ⑤ 2020年 **東京オリンピック・パラリンピック**を契機としたレガシーの創出(P16)

## これからの取り組み 総仕上げに向けた主な内容

17年

小・中学校全校への冷暖房設備設置完了  
 厚木・清川消防広域化スタート  
 あつぎこどもの森公園オープン⑥  
 療育相談センター「まめの木」オープン  
 保健福祉センターオープン  
 新市立病院全面オープン⑦  
 森の里東地区A工区完成

16年6月に  
 来場者10万人突破!

18年

病児保育事業開始  
 新東名厚木南インターチェンジ開通  
 「新東名あつぎウォーク」開催  
 市自治会連絡協議会が  
 「地方自治功労者」として総務大臣から表彰⑧  
 市内四つ目の  
 インター  
 チェンジ完成!

### 第4期実施計画スタート

19年

地域包括ケア連携センター設置  
 小・中学校全校へのコミュニティスクール導入完了  
 荻野運動公園スポーツ施設リニューアル完成  
 アジア地域SC会議厚木大会開催  
 本厚木駅北口広場デジタルサイネージ設置  
 あさひ公園内雨水貯留施設完成  
 (仮称)旭町2丁目自転車等駐車場完成  
 (仮称)あつぎ郷土資料館オープン⑨

20年

森の里東地区B工区完成  
 本厚木駅南口駅前広場の  
 拡充整備完了・再開発ビル完成⑩  
 東京オリンピック・パラリンピック  
 キャンプ誘致



# ◆厚◆木◆歳◆時◆記◆

四季折々の催しを紹介します。厚木の春夏秋冬をお楽しみください。



## 4月 あつぎ飯山桜まつり

満開の桜の下、飯山白龍太鼓や白龍の舞、さくら輿など、飯山の伝統芸能が楽しめる。  
その他>>かながわグルメフェスタ、  
かなキャラ大集合!、夕焼け市(10月まで)など

# 春

## 5月 厚木市緑のまつり

色とりどりに咲いたさつきの展示や花苗の販売など、緑がもたらす潤いや安らぎを堪能できる。  
その他>>森の里鯉のぼりまつり、  
少年少女フェスティバルなど

女性のみこしを担ぐ「さくら輿」

## 6月 あつぎ飯山あやめまつり

見頃を迎えた約4000株のハナショウブが楽しめる。芸妓衆による花見踊りや写真撮影会も人気。

## 8月 あつぎ鮎まつり

厚木の夏の風物詩。大花火大会やダンスコンテスト、アユのつかみ取りなど見どころ盛りだくさん。  
その他>>農業まつり「味覚祭」、  
あつぎジャズナイトなど

# 夏

夜空に大輪の花が咲く大花火大会



## 10月 野外彫刻造形展 ～あつぎ青空アート展～

プロの作品から市民の皆さんの力作まで、多彩なアートが楽しめる。  
その他>>郷土芸能まつり、あつぎマラソンなど

# 秋

## 11月 にぎわい爆発!あつぎ国際大道芸

国内外のパフォーマーが厚木のまちに大集結。街中が摩訶不思議なステージに。  
その他>>農業まつり「畜産祭」「収穫祭」、  
あつぎミュージックフェスティバルなど

街中が驚きに包まれるにぎわい爆発!あつぎ国際大道芸

## 1月 あつぎ駅伝競走大会

約450人のランナーが沿道の声援に背中を押され、たすきをつなぐ。地区対抗や高校の部でも熱戦が展開される。

## 2月 「あゆコロちゃん」お誕生日 おめでとうセレモニー

1日に誕生日を迎える市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」を盛大にお祝いのする。

多くの方が駆けつけるあゆコロちゃんお誕生日おめでとうセレモニー



# 冬